

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年2月1日

事業所名 児童発達支援センターバンビ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	9	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	7	2	0		配置基準に沿って配置してあります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	9	0	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	8	1	0		PDCAサイクルについて、職員に理解を求めために 勉強会を実施したいと思います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	9	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	9	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	9	0	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	8	1	0		職員に研修の機会がもてるようにしています。
適切な支 援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	9	0	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	9	0	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	8	1	0		毎月遊び会議を行い、内容の検討を行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5	3	1	土曜日の実施 利用日は固定し長 期休暇に左右され ないため	土曜日(第1, 2, 3, 4まで)のみの開所としています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	8	1	0	個別活動は実施し ていない	集団療育のみで個別には実施していません。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	9	0	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	8	1	0		毎回振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1	0		振り返りの内容を記録に取るようにしています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	8	1	0		定期的に個別支援計画の見直しを行っています。	

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8	1	0		職員が分かりやすいように、再度周知して活用できるようにしていきたいと思いをます。
----	---------------------------------	---	---	---	--	------------------------------------------

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2	1	今年度は会議がなかったため、参加していない	会議の案内が来た時には、ふさわしい職員が参加しています。今年度は会議がなかったため、参加していません。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	2	1	希望があつた小学校のみ事業所の様子共有実施 保護者より情報提供をしてもらっている	土曜日だけの利用となっているため、学校への送迎などが無いので、こういう情報共有は行っておりません。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	2	現在受け入れてない	看護師の配置がないため、医療的ケア児の受け入れは行っておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1	1		必要に応じて連携をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	2	0	保護者から希望があれば提供可能	保護者の希望に応じて行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	1	相談支援専門員の介入がある	今後も継続して連携を取っていききたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5	4	あえて交流する機会はないが、地域の施設を利用する機会を作ることで活動の場を広げている。 感染予防のため実施なし	現状では考えていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	1	0	療育・発達支援部会に参加している	継続して参加し情報の共有を行っていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1	0		保護者伝えや連絡ノートで、課題について共通理解が持てるようにしています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	2	0		市が行っているペアレントトレーニングに運営側で参加しています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	3	父母の会はない。 保護者同士の交流する機会を作るようにしている。 保護者会を作っていない できていない	父母の会はありませんが、保護者同士で話をする時間を作ったり、交流会を企画して参加を促しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	0		
	35	個人情報に十分注意している	9	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0		

37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域にかかれた事業運営を図っている	2	4	3	感染予防のため	土曜日だけの開催のため、地域の方との交流計画は難しいと思います。その中でも何か交流できるか検討はしていきたいと思います。
----	------------------------------------	---	---	---	---------	--------------------------------------------------------------

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0	0	安全計画を作成し、掲示している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	2	0	クッキング前に保護者へ確認している	クッキングや食べる場面では、必ず保護者にアレルギーの確認を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	0		